



2023年5月25日

各 位

会 社 名 株式会社テリロジーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 阿部 昭彦
(コード番号 5133 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先
役職・氏名 執行役員グループ経営本部長 廣谷 慎吾
電 話 03-3237-3437

**アイティーエム株式会社との資本業務提携及び
第三者割当増資の引受け（持分法適用関連会社化）に関するお知らせ**

株式会社テリロジーホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：阿部 昭彦、以下「テリロジーホールディングス」）は、2023年5月25日開催の取締役会において、さくらインターネットグループのITシステム運用監視・マネージドサービスプロバイダー（MSP）事業者であるアイティーエム株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：河本 剛志、以下「アイティーエム」）との間で、資本業務提携契約を締結し、これに伴いアイティーエムが実施する第三者割当増資を引き受けること（以下「本第三者割当」）を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 資本業務提携の目的および理由

単独株式移転により2022年11月1日をもって完全子会社化した株式会社テリロジー（以下「テリロジー」）は、2022年8月25日付「兼松エレクトロニクス株式会社との業務・資本提携及び第三者割当による新株発行並びに自己株式の処分に関するお知らせ」にて記載の目的にて327百万円の資金調達（以下「当社調達資金」）を行っております。当社はこの資金活用のため、将来的なセキュリティ事業領域における資本業務提携や人的資源確保に向けての具体的な事案発掘及び検討を続けてまいりました。

サイバーセキュリティを取り巻く環境は、昨今のリモートワークの定着や業務のデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進により、企業の情報技術への依存度が高まり、またクラウドの活用が進む一方で、サイバー攻撃の脅威も日々増大し続けています。さらには、かつてはサイバー攻撃の発生頻度が低かった、工場やプラントのハードウェアを制御・運用するための産業用制御システム（OT）においても、製造業のDXによるOTシステムのデジタル化により、ITシステムや無線通信を経由したサイバー攻撃の被害事例が増加しています。

一方、我が国のセキュリティ人材は慢性的な不足状態が続いており、特にセキュリティソリューションの運用・監視において多くの企業が課題を抱えています。そのため、ITおよびOTのサイバーセキュリティ分野におけるマネージドサービスおよびSaaSの充実が急務となっています。

また、昨今では OT/IoT クラウドサービスのニーズも増加しており、セキュアな国産インダストリークラウドサービスの提供が求められています。

当社連結子会社であるテリロジーは、IT および OT のサイバーセキュリティ分野において、国内大手エンタープライズを中心に、海外の最先端製品およびソリューションの提供を行ってまいりました。直近ではクラウドセキュリティを注力分野の一つとし、顧客のクラウドシフトをインフラからアプリケーション領域まで幅広く支えています。

本資本業務提携を通じ、アイティーエムの持つ、25年にわたる MSP サービスの提供実績に裏付けられたシステム運用監視のノウハウおよび体制と、当社のサイバーセキュリティ事業における目利き力と市場対応力を活かした、クラウドセキュリティマネージドサービスの提供や OT 分野における業界特化型のクラウド基盤の構築、ソリューションの開発等の加速化を図ることで、両社のお客様に対してより幅広いセキュリティサービスを提供することが可能になると見込まれ、今後の当社の企業価値向上と、株主の利益に資するものと判断し、資本業務提携契約を締結することで合意に至りました。

このたびの本第三者割当にしましては、当社調達資金のうち②将来的なセキュリティ事業領域における M&A 及び業務・資本提携に係る事業開発投資関連での費用の一部、及び③人的資源確保・育成のための投資及び協業市場開発に関わる販売促進・営業活動の費用の全部を活用いたします。

(参考) 本件実行後の当社調達資金の充当状況

具体的な用途	予定金額	充当済金額
①新規セキュリティ商材の発掘に関わる活動費用及び新技術・新商品の技術検証に係る費用	約 25 百万円	約 9 百万円 (残額 16 百万円は 2024 年度までに消化予定)
②将来的なセキュリティ事業領域における M&A 及び業務・資本提携に係る事業開発投資関連での費用	約 210 百万円	約 210 百万円
③人的資源確保・育成のための投資及び協業市場開発に関わる販売促進・営業活用の費用	約 75 百万円	約 75 百万円

2. 資本業務提携の内容等

(1) 業務提携の内容

① 提供サービス、ソリューションの強化

アイティーエムが MSP サービスで培った 24 時間 365 日のシステム運用オペレーション機能と、テリロジーが保有するサイバーセキュリティに関する技術力、知見を活用し、Managed OT-Security サービス、既存ソリューション群のマネージドサービス化等、高精度なセキュリティ運用ソリューションの提案が可能となり、両社のお客様に対して提供サービスを拡大・拡充し、顧客満足度を高めることで、両者の成長を促進します。

② 新規事業開発における連携強化

インダストリークラウドをはじめとした、業界特化型のクラウドサービスの開発や、海外最先端セキュリティソリューションをローカライズし、SaaS化を実施する等、成長市場領域における新規事業開発を両社共同で行います。

(2) 資本提携の内容

当社はアイティーエムとの業務提携によるシナジー効果を確実にするため、本第三者割当により発行される普通株式のすべてを引受けます。本第三者割当の結果、アイティーエムは当社の持分法適用関連会社となる予定です。

本第三者割当の概要は以下の通りであります。

(1) 引受株式数	普通株式 13,250 株
(2) 払込価額	1 株につき 9,739 円
(3) 払込価額の総額	129,041,750 円
(4) 払込予定日	2023 年 5 月 31 日

(3) 取締役の派遣

今回の資本業務提携に合わせ、当社グループより 1 名がアイティーエムの取締役に就任いたします。

3. 相手先の概要

(1) 名称	アイティーエム株式会社	
(2) 所在地	東京都新宿区西新宿 7-20-1 住友不動産西新宿ビル	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 河本 剛志	
(4) 事業内容	システムマネジメント事業 データセンター事業 ネットワークサービス事業 クラウドサービス事業 情報セキュリティ事業	
(5) 設立年月日	2017 年 1 月 4 日	
(6) 資本金	75,000 千円	
(7) 決算期	3 月 31 日	
(8) 発行済み株式総数	53,000 株	
(9) 大株主および持株比率 (2023 年 3 月 31 日時点)	さくらインターネット株式会社 100%	
(10) 当社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当社は当該会社に対し、商

		品・サービスを販売しています。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(11) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財務状況			
決算期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
純資産	△137,949千円	43,388千円	108,222千円
総資産	467,735千円	580,586千円	578,951千円
1株当たりの純資産	△2,603円	819円	2,042円

(注) 当該会社の最近3年間の経営成績は、相手先の意向により非開示とさせていただきます。また、当該会社の2023年3月期の財務状況は、相手先の決算確定が6月のため、2022年3月期までの最近3年間の財務状況を記載しております。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 取得前の所有株式数	0株 (議決権の数 0個) (議決権所有の割合 0.00%)
(2) 取得株式数	13,250株 (議決権の数 13,250個)
(3) 取得価額	アイティーエム株式会社の普通株式 129,041,750円
(4) 異動後の所有株式数	13,250株 (議決権の数 13,250個) (議決権所有の割合 20.00%)

5. 日程

取締役会決議日	2023年5月25日
本資本業務提携契約締結日	2023年5月25日
本第三者割当増資払込日(予定)	2023年5月31日
株式取得日(予定)	2023年5月31日

6. 今後の見通し

本株式取得により、アイティーエムは当社の持分法適用関連会社となる予定です。

本件による当面の当社連結業績に与える影響は軽微と見込んでおりますが、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。なお、中長期的には当社の企業価値向上に貢献するものと考えております。

以上